



確定拠出年金と金融教育に関する研究

経営情報学部 経営学科

教授 村上 恵子（むらかみ けいこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1647 号室
Tel/Fax 082-251-9835
E-mail keiko@pu-hiroshima.ac.jp
※@は半角に置き換えてください



専門分野： 金融論

キーワード： 確定拠出年金、年金ガバナンス、金融教育、金融資産選択

ける適切な金融商品・サービスの選択とそれを促す教育を消費者市民社会の形成という観点から考えています。

● 現在の研究について

現在は次の2つの研究に取り組んでいます。

(1) 確定拠出年金の運用メニューに関する研究

確定拠出年金加入者数は、近年、企業型においても個人型においても増加しています。このような中、確定拠出年金の運用商品が加入者の利益を図る目的で選択されているかを検証しています。

確定拠出年金の加入者は企業あるいは運営管理機関の提供する運用商品という制約の下で金融資産の選択を行う必要があるため、運用商品の選択経緯や選択理由を明らかにし、提示される運用メニューが真に加入者の利益にかなうものになっているのか否かを分析することは非常に重要です。この研究の成果は、今後、年金ガバナンスの議論を深めていく上で重要な基礎資料になると考えています。

(2) 金融資産選択に必要な金融知識に関する研究

金融商品・サービスに関しては、消費者・事業者（金融機関）間の情報格差が比較的大きく、それらを選択する際に必要となる知識が高度に専門的であることが知られています。このような特徴を持つ金融商品・サービスの選択に関して、望ましい選択を可能にする教育のあり方を研究しています。

特に、消費者教育推進法では、消費者教育を「消費者の自立を支援するための教育であると同時に、消費者が主体的に消費者市民社会の形成に参画することの重要性を理解させるための教育」と定義していることから、これからの消費生活にお

● 今後進めていきたい研究について

今後は、確定拠出年金に関して、

- (1)加入者が自らに合う運営管理会社を選ぶ上で必要となる高度な金融知識を習得できる仕組みに関する研究、
 - (2)金融知識が十分でない人をサポートする仕組みに関する研究、
 - (3)企業及び金融機関が加入者の利益を考えた質の高い運用資産を選ぶことを可能とする制度に関する研究、
- 等に取り組んでいきたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

以下の2つの内容について、地域や社会の皆様と連携して研究・分析に取り組みたいと考えます。

- (1)確定拠出年金制度を導入している企業や金融機関と、金融教育や運用メニューに関する研究。
- (2)金融経済リテラシー教育を実施したいと考えている中学校、高等学校、あるいは地域公民館と、望ましい金融教育に関する研究。

● これまでの連携実績

- (1)起業化支援の方向性に関する研究（三原市と連携）。
- (2)宮島口及び宮島地域における歩行喫煙等の実態調査とその防止対策の検討（廿日市市と連携）。
- (3)産休・育休中のキャリアアップに関する公開講座の企画・開講（各公民館等と連携）。